



S.Suzuki

THE LEOPARD STAKES

第17回 レパードステークス (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 37,000,000円 15,000,000円 9,300,000円 5,600,000円 3,700,000円
付加賞 546,000円 156,000円 78,000円



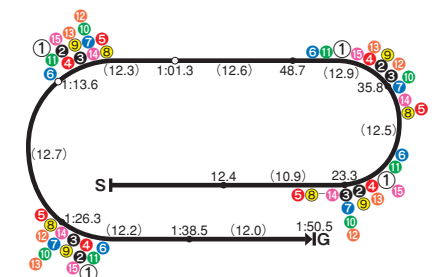
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.8.10 新潟 雨・不良 ダート1800m (国産) (指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	ドンインザムード	牡 3	57	松山弘平	1:50.5	3-3-2-2	36.8	522(+4)	8.9⑤	今野貞一(栗東)	109
2	②	ルヴァンユニバール	牡 3	57	内田博幸	1/2	7-7-4-4	36.7	560(+10)	43.8⑩	北出成人(栗東)	108
3	③	ヒルノハンブルク	牡 3	57	石橋 脩	ハナ	2-2-2-2	36.9	468(+8)	35.5⑩	武 英智(栗東)	108
4	④	ハグ	牡 3	57	高杉史朗	3	3-4-4-4	37.2	508(+10)	29.1⑩	藤岡健一(栗東)	103
5	⑤	サノノワンダー	牡 3	57	大野拓弥	クビ	14-14-14-13	36.4	520(+4)	28.9⑩	栗田 徹(美浦)	
6	⑥	ジャナドリア	牡 3	57	戸崎圭太	1/4	1-1-1-1	37.8	526(+11)	9.3⑥	武井 亮(美浦)	
7	⑦	ヴィンセンシオ	牡 3	57	C.ルメール	クビ	9-11-10-9	37.0	514(+8)	4.7①	森 一誠(美浦)	
8	⑧	チュウジョウ	牡 3	57	丸山元氣	1/4	9-11-10-9	37.3	510(+4)	71.5⑭	杉山佳明(栗東)	
9	⑨	ニューファウンド	騾 3	57	石川裕紀人	1	13-13-10-9	37.4	504(-2)	74.9⑮	相沢 郁(美浦)	
10	⑩	ロードラビンス	牡 3	57	川田将雅	3/4	7-7-7-7	37.9	484(-4)	5.5③	松下武士(栗東)	
11	⑪	タガノマカシヤ	牡 3	57	菊沢一樹	1/4	9-9-7-7	38.2	506(+6)	58.5⑬	中村直也(栗東)	
12	⑫	トリポリタニア	牡 3	57	岩田康誠	3/4	9-9-10-13	37.9	476(-4)	6.3④	上村洋行(栗東)	
13	⑬	シンビリーブ	牡 3	57	菅原明良	クビ	15-14-14-15	37.7	520(±0)	27.7⑪	森 秀行(栗東)	
14	⑭	ルグランヴァン	牡 3	57	原 優介	2	5-5-7-9	38.6	488(+2)	4.9②	高木 登(美浦)	
15	⑮	ボールセン	牡 3	57	斎藤 新	5	5-5-4-4	39.7	476(-4)	11.8⑦	斎藤 誠(美浦)	

単勝①890円(5[▲]%) 複勝①360円(5[▲]%) ②840円(12[▲]%) ③820円(11[▲]%) 枠連①-②7,830円(28[▲]%)
馬連①-②13,320円(44[▲]%) ワイド①-②3,600円(45[▲]%) ①-③4,170円(50[▲]%) ②-③9,710円(81[▲]%)
馬単①-②19,930円(72[▲]%) 3連複①-②①100,940円(260[▲]%) 3連単①-②①448,110円(1,261[▲]%)
5重勝②③④⑤⑥1,629,640円(285票) 対象競走: 中京6R / 新潟6R / 札幌11R / 中京7R / 新潟7R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
35.8 - 48.7 - 1:01.3 49.2 - 36.9

アラカルト

- ・松山弘平騎手はレパードS初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算52勝目
- ・今野貞一調教師はレパードS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算2勝目
- ・アジアエクスプレス産駒はJRA重賞通算4勝目
- ・牡馬の勝利は24年ミッキーファイトに続く通算15回目
- ・非当選馬 5頭(グレイスザクラウン、ソリスクラヴィス、タガノパピロン、ピカピカサンダー、メイショウソウセキ)

ドンインザムード *Don in the Mood*

牡 黒鹿毛 2022.5.7生
北海道新冠町 松本信行氏生産
馬主・山田貢一氏 栗東・今野貞一厩舎
馬名意味・冠名+曲名

アヴェニューズレディUSA系 F12-d

アジアエクスプレスUSA Asia Express 栗毛 2011	Henny Hughes 栗毛 2003	Hennessy
		Meadow Flyer
	Running Bobcats 鹿毛 2002	Running Stag
		Backatem
ハギノウィッシュ 鹿毛 2009	アグネスタキオン 栗毛 1998	サンデーサイレンスUSA
		アグネスフローラ
	アヴェニューズレディUSA 黒鹿毛 2001	Avenue of Flags
		Lady Sauce Boat

5代までのインブリードなし

INTERVIEW

青山裕一 調教主任
(宇治田原優駿ステーブル・育成)

大きなところを狙えると思います

ドバイから帰国後の前走が6着。今回は得意な左回りのレースでしたので巻き返しの一戦だと思っていました。こちらに来た2歳8月頃は480~490^{kg}台。成長を促しながら調整しましたが、調教は動く馬でした。3戦目でナルカミを下した時に改めて能力を感じました。左回りに良績を残していますが右回りも問題はないので、今後大きなところを狙えると思います。

T.Miki



ダートで4勝を挙げた活躍馬ハギノリクスの半弟にあたる本馬は昨年10月、京都・ダート1800^mの初陣を快勝。年明けに中京の1勝クラス戦を勝ち上がり、続くヒヤシンスSで小差の3着に食い込み、UAEダービーにも遠征3着した。帰国初戦となった6月の2勝クラス戦(阪神)は外へ張る若さを覗かせて6着に敗れたが、左回りコースで鮮やかに一変。レース史上初の父子制覇を達成し、秋の大舞台へ名乗りをあげた。

父アジアエクスプレスUSA

中央、地方12戦4勝 詳細はP.4参照

母ハギノウィッシュ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央32戦1勝

ハギノベルエギブ(16 牝父ハービンジャーGB)中央11戦1勝

ハギノリクス(17 牝父ルーラーシップ)中央17戦4勝(トルマリンS)、地方1戦0勝

ハギノロマネスク(18 牝父エピファネイア)中央6戦1勝

ビービーダイゴ(21 牝父アジアエクスプレスUSA)地方13戦5勝

ドンインザムード 本馬(22 牝父アジアエクスプレスUSA)中央6戦3勝(レバードS^{G_m}、ヒヤシンスS・L3着)、首1戦0勝(UAEダービー^{G₂}3着) 獲得総賞金73,282,400円

(24 牝父ミスターメロディUSA)

(25 牝父モーニンUSA)

※19、20(不受胎)、23(前年種付せず)

祖母アヴェニューズレディUSA

北米1勝。05年輸入、21年用途変更

レディドワイルドキャット Lady d'Wildcat(05 牝父D'Wildcat)北米6勝(サウスオーシャンS・加2着、エターナルサーチS・加3着)

ハギノウィッシュ(09 前出)

ミュゼストリート(11 牝父ゴールドアリュール)中央1勝

フォルテミノル(13 牝父ワークフォースGB)中央1勝

曾祖母レディソースボート Lady Sauce Boat

アメリカ産 北米2勝

ソーシーゲイロード Saucy Gaylord(85 牝父Lord Gaylord)北米8勝(パークハイツH・米L2着、フランシススコットキーH・米3着)

ソーシーレディゲイロード Saucyladygaylord(89 牝父Lord Gaylord)北米7勝、**ワンフォーローズCAN**(シーグラムC・米^{G₃}、メイプルリーフS・米^{G₃}2回、輸入繁殖牝馬)の母、**レディアルバローザ**(中山牝馬S^{G_m}2回、ヴィクトリアマイル^{G₁}3着)、**キャトルフィーユ**(クイーンS^{G_m}、

エンジェルフェイス(フラワーC^{G_m})の祖母

シンプリーソーシー Simply Saucy(93 牝父Lord Avie)北米1勝、アンバーズウェイ Amber's Way(クラッシーブリーフケースS・米)の母、**ミオシティスダン** Myositis Dan(ダービートライアルS・米^{G₃}3着)の祖母

アヴェニューズレディUSA(01 前出)

混戦ムードに断を下し父子制覇達成

3歳ダート三冠の創設にともない、最後の一冠・ジャパングラッショクのトライアルと位置付けられて2年目。朝から降り続く雨のもと、不良馬場を舞台に争われたレバードSは、芝路線から転戦してきた弥生賞ディープインパクト記念の2着馬ウインセンシオ、1、2勝クラス戦を連勝中のルグランヴァン、ロードラビリスなど、ひと桁の単勝オッズを記録した馬が6頭を数え、上位拮抗の様相を呈した。混戦ムードに断を下したのは5番人気のドンインザムード。2014年の優勝馬アジアエクスプレスの産駒が、前週のピュロマジックに続き、2週連続の重賞制覇を果たした。

雲取賞の優勝馬ジャナドリアが先導役を務めたレースは、平均的な流れで進行。最内枠を引いたドンインザムードの松山弘平騎手は、楽な手心えて3番手のインを進む。対して好位勢の直後につけたルグランヴァンは向正面で手が動き始め、ジリジリと後退。水が浮いたダートに戸惑ったのが、中団のロードラビリス、後方のウインセンシオも本来の行きつづりを欠き、劣勢を余儀なくされた。

そんな上位人気馬を尻目に、直線は失速した逃げ馬を呑み込んだ好位勢の争いに。2番手から抜け出しをはかったヒルノハンブルクにドンインザムードが襲い掛かり、先頭に躍り出る。かわされたヒルノハンブルクも最後までしぶとく抵抗、早めに好位へ進出したルヴァンユニバーサルも内から追い込んできたが、最後はドンインザムードがグイッと前に出て勝負を決めた。